

議案
第 27 号 ▶ 可決

白岡駅東部中央 土地区画整理事業

問 測量・設計・管理委託事業が、6年度と比較して1200万円減額となった理由は。

答 建物・物件調査費用が2330万円から700万円に減額となった。6年度は、白岡駅東口線に係る物件補償の関係で建物・物件調査の業務委託が多く発生したためである。

問 6年3月と7年3月を比較した土地区画整理事業全体の進捗率は。

答 7年3月末見込みで総事業費で80.2%、前年度比+4.7%、基本事業費で64%、前年度比+2.3%である。

問 建物移転済み戸数の進捗状況は。

答 7年3月末見込みで175棟、前年度比+4棟、移転費用は事業計画に対して84.1%、前年度比+3.7%である。

問 事業計画では、令和21年に終わる予定だが、事業開始から40年以上かかっている。事業が延びている理由は。

答 現在、白岡駅東口駅前広場と白岡駅東口線の整備を進めている。家屋の移転は、各個人の都合もある中で、権利者に寄り添いながら進めている。公共事業の場合、事業期間が延びる傾向がある。なお、家屋移転・街路整備ともに順調に進んでいると認識している。



白岡駅東口駅前

7年度 公営企業会計予算

議案
第 28 号 ▶ 可決

水道事業



問 水道水の水質向上を図ることで、おいしくすることはできないか。

答 市の水道水は、全体の約8割が県水であることから、市単独での水質向上は難しい。

県浄水場で進めている高度処理設備の整備により、今後の水質向上が期待される。



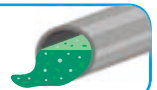
県が整備を進める高度浄水処理施設

問 7年度に石綿管更新等工事が予定されているが、石綿セメント管の残延長は。

答 6年度末での石綿セメント管の残延長は約8.8kmとなっており、7年度には約1.3kmの更新を予定している。

議案
第 29 号 ▶ 可決

公共下水道事業



問 公共下水道の中継ポンプ場の稼働を停止しておける時間は何時間か。また、八潮市内で発生した事故を受けて、今後、中継ポンプ場の貯留機能の向上を図る予定はあるか。

答 八潮市内で発生した事故の際、3時間停止させた実績がある。なお、ポンプ場改築による貯留機能の向上は、現時点では予定していないが、今後、国からの指針や県の動向を注視しつつ検討していきたい。

《7年度 公営企業会計予算》

議案	公営企業会計	区分	収入総額	支出総額
第28号	水道事業	収益	11億6821万3千円	11億6012万5千円
		資本	1億8397万2千円	4億3403万4千円
第29号	公共下水道事業	収益	10億2447万5千円	9億9673万9千円
		資本	6億8854万5千円	9億7503万円
第30号	農業集落排水事業	収益	1億 879万1千円	1億1105万6千円
		資本	2603万8千円	3971万4千円